

# 猪苗代湖

(いかわしろこ)

位置：北緯37度28分 東経140度05分／標高：514m／面積：10,960ha／湿地のタイプ：淡水湖／保護の制度：国立公園第2種特別地域／所在地：福島県会津若松市、郡山市、猪苗代町／登録：2025年7月／国際登録基準：1、2、3、4、6

湿地のタイプ：淡水湖



磐梯山側から見た猪苗代湖の全景



ハクチョウ類



猪苗代湖北岸のアサザ群落 (写真：猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品)

## 湿地の概要：

猪苗代湖は福島県のほぼ中央に郡山市、会津若松市及び猪苗代町にまたがるように位置している。磐梯山麓にあるこの湖は、湿地面積が10,960ha(うち湛水面積は約10,300ha)で国内4番目の大きさを誇る。

猪苗代湖の最大の流入河川は長瀬川である。この長瀬川の支川の一つである酸川の河川水が火山に起因する強酸性であったことから、猪苗代湖もかつては酸性湖沼であった。現在は中性化が進んでいるが、湖心は透明度が高く、水質が良好に保たれている。

湖の面積が広く、水深も深いため、冬期でも水温が下がりにくく、全面凍結しない不凍湖である。そのため、ハクチョウ類やカモ類にとって重要な越冬地となっている。また、湖の北岸から1,500m以上の沖までは水深2.5m以下の広い湖棚状の平坦部が広がる遠浅な地形であり、ヒシやヨシ原、アサザ等の水生植物が生育する環境となっている。

## 渡り鳥の越冬地：

猪苗代湖では近年、平均で約800羽のコハクチョウが越冬している。また、ホシハジロやオナガガモ等のカモ類にとっても、重要な越冬地となっている。

## 多様な動植物の宝庫：

湖の北岸は、国内最大級のアサザの生育地であるほか、国の天然記念物に登録されている「猪苗代湖ミズシギゴケ群落」

の所在地として知られる。その他、水辺にはヒツジグサやマルバオモダカなどの水生植物が生育し、帯状に広がるヨシ原では、オオヨシキリやコヨシキリ、ヨシゴイが繁殖する。

猪苗代湖及びその周辺では約1,000種の動植物が確認されており、そのうち300種以上がIUCNレッドリストの掲載種である。

## 清浄な水質を守るために：

日本有数の水質を誇る猪苗代湖ではあるが、近年は酸川の硫酸イオンの減少に伴う湖水の中性化などの影響により、湖内の有機物量の増加が進んでいる。水質に関する課題に対応するため、2012年に「紺碧の猪苗代湖復活プロジェクト会議」が設立された。プロジェクト会議では、住民、民間団体、事業者及び行政が協働で湖岸の清掃活動、漂着した水草の回収、ヨシやヒシの刈り取りなどに取り組んでいる。なお、刈り取ったヨシは「どんと祭」などの地域行事や紙の原料に、ヒシは茶の原料として一部利用されている。

## 自然とのふれあいの場：

天神浜などに代表される白砂青松の優れた自然景観は福島県の有数な観光地となっている。また、湖面は湖水浴や水上アクティビティの場として、湖畔はキャンプ場として利用されるなど、猪苗代湖は人と自然とのふれあいの場となっている。



日本有数の水質を誇る猪苗代湖 (写真：猪苗代湖・裏磐梯湖沼フォトコンテスト入賞作品)

## ●関係自治体

会津若松市役所 Tel：0242-39-1111  
郡山市役所 Tel：024-924-2491  
猪苗代町役場 Tel：0242-62-2111

